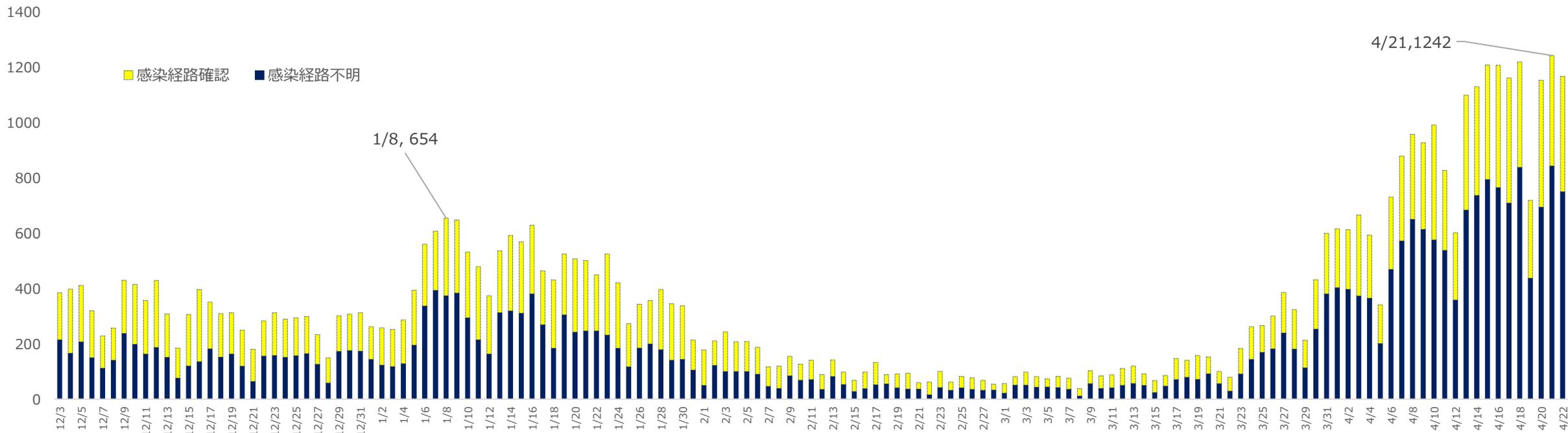


陽性者数の推移



12月3日 赤信号点灯（医療非常事態宣言）

12月4日 レッスンステージ1移行
府民へのできる限り不要不急の外出自粛要請（～12月15日）

12月16日～1月13日 府民への不要不急の外出自粛要請
大阪府全域への時短要請等

市内 21時

12月26日 全ての国・地域からの外国人入国拒否

1月9日 緊急事態宣言発出要請

1月14日～2月28日 緊急事態措置
レッドステージ（非常事態）2移行
府民への不要不急の外出自粛要請
大阪府全域の飲食店及び遊興施設の時短要請

府域 20時

2月23日 緊急事態宣言解除要請

3月1日～緊急事態宣言解除
イエローステージ移行
黄信号点灯（医療非常事態宣言解除）
4人以下でのマスク会食の徹底
歓送迎会・謝恩会・宴会伴う花見の自粛要請
大阪市全域の飲食店及び遊興施設の時短要請
府民への不要不急の外出自粛要請（～21日）
首都圏への往来自粛要請（22日～）等

市内 21時

3月31日 まん延防止等重点措置要請

4月1日～ 大阪府全域の飲食店及び遊興施設の時短要請

4月5日～まん延防止等重点措置適用
重点措置を講じるべき区域（大阪市）
時短要請20時

府域 21時

市内 20時・市外 21時

4月7日 赤信号点灯（医療非常事態宣言）

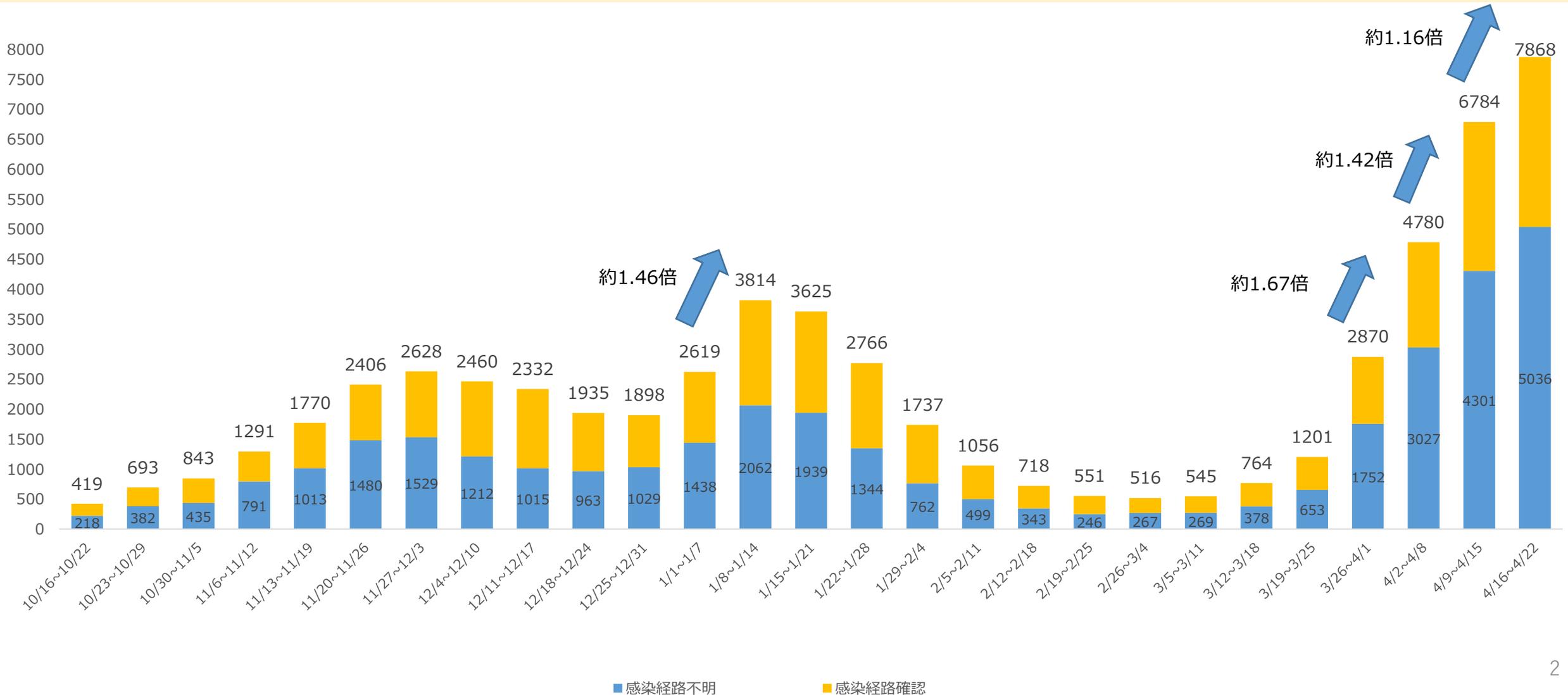
4月8日 府域における不要不急の外出移動自粛要請

4月9日 週末の外出移動自粛要請

4月14日 緊急事態宣言発出要請
大学等でのオンライン授業実施や
学校での部活動休止、テレワーク
徹底等を要請

7日間毎の新規陽性者数

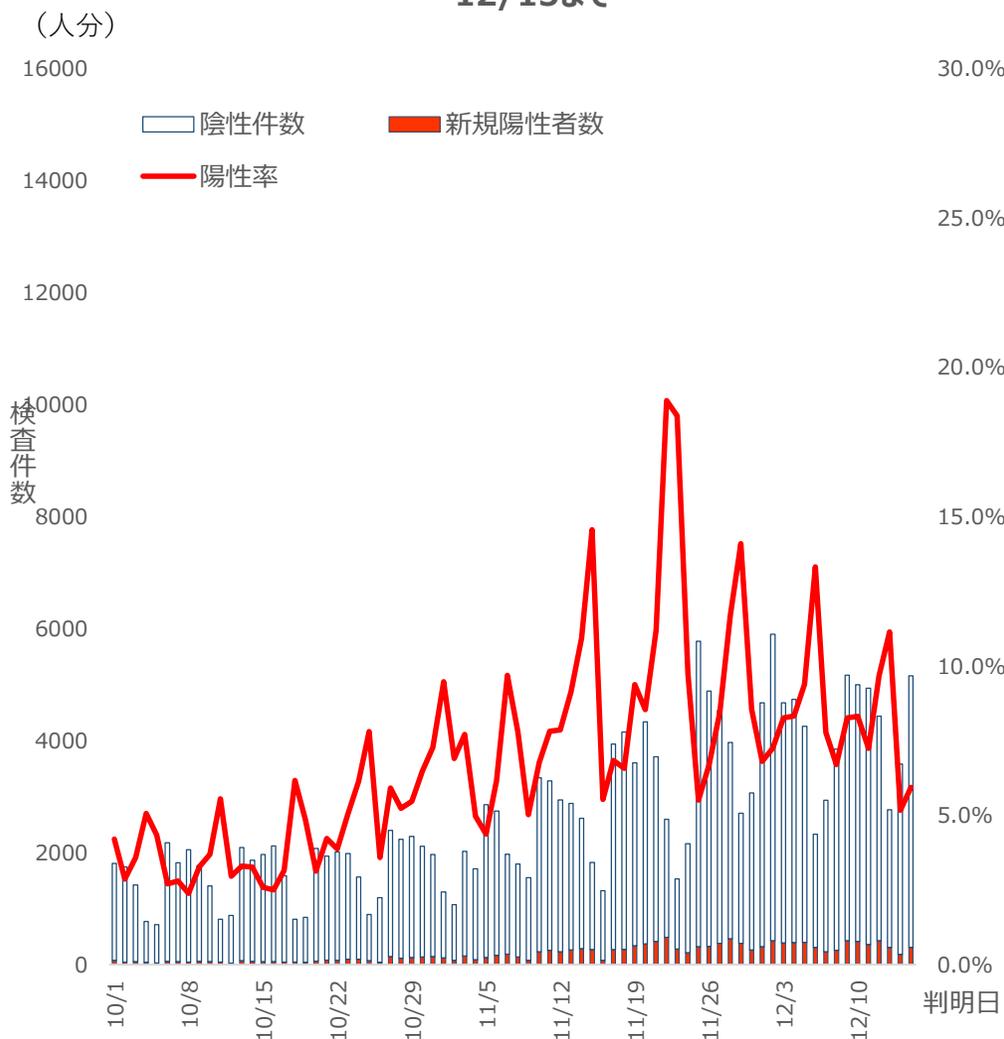
直近1週間の前週増加比は1.16倍とその前に比べて鈍化した。4月21日の新規陽性者数が過去最多を記録。13日以降、1日あたり1,000人を超過(19日を除く)し、極めて高水準で高止まり。
(直近1週間の新規陽性者数一日平均約1,124名)



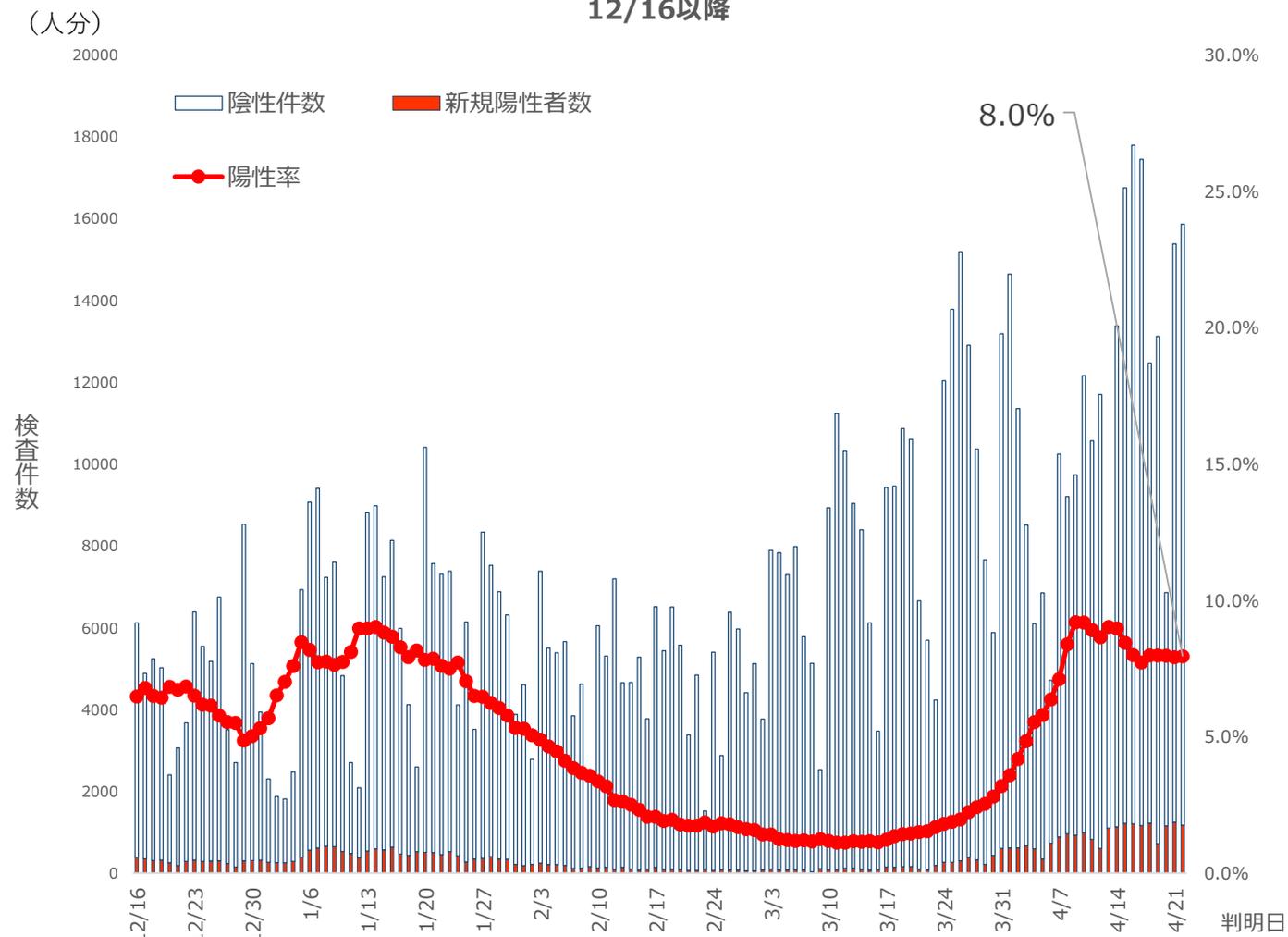
検査件数と陽性率

4月14日以降、8%前後で高止まりしている。

12/15まで

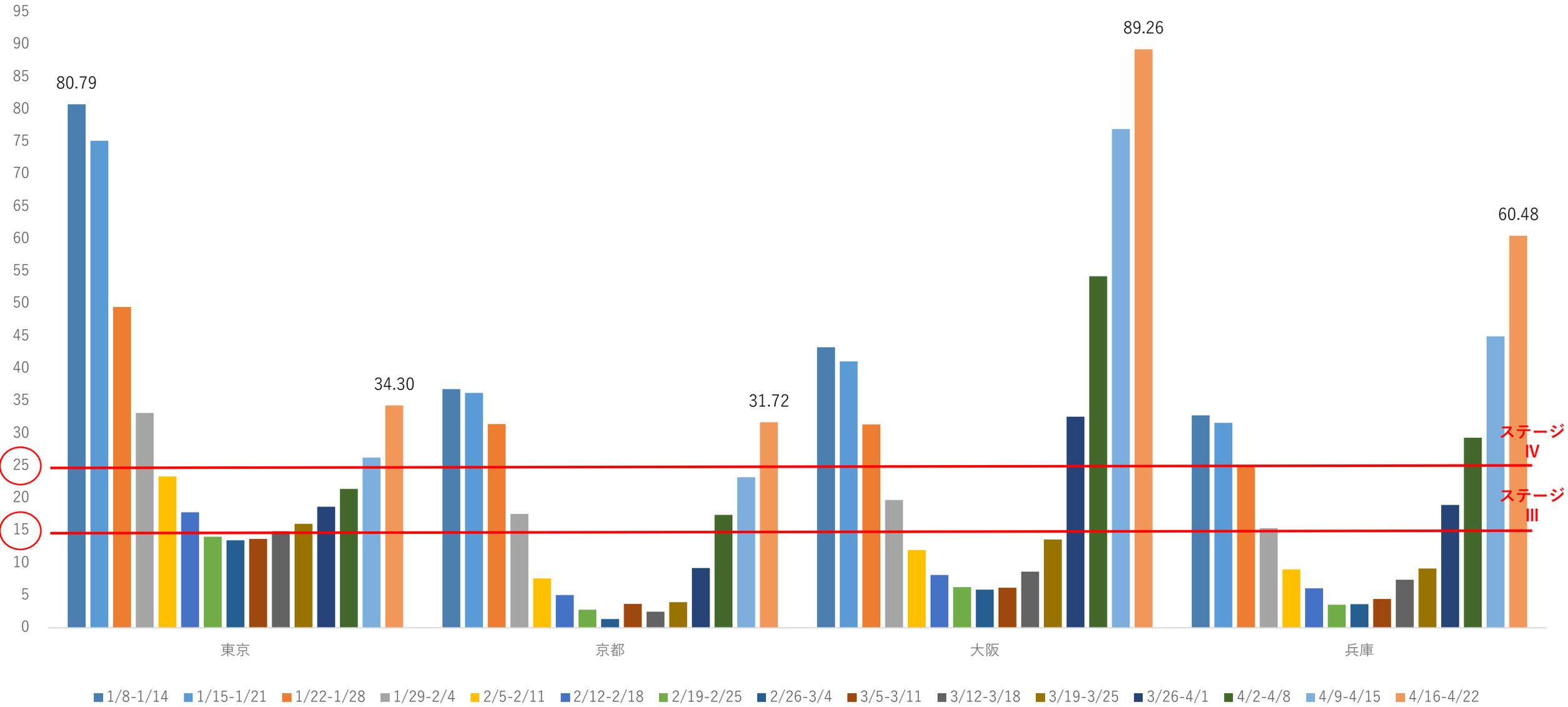


12/16以降



※12月15日より国システム（G-MIS）を使用し、算出方法を「1週間の陽性者数／1週間の検体採取をした人数」に変更

週・人口10万人あたり新規陽性者数 (緊急事態措置適用区域)



※各都道府県ホームページ公表数値を基に、大阪府の分析による

「大阪モデル」モニタリング指標の状況

重症病床は満床の状態となり、軽症中等症病床使用率も8割程度（重症者を治療継続をすることで、軽症中等症患者受入可能な病床数は実際より少ない）と極端にひっ迫。

分析事項	モニタリング指標	府民に対する警戒の基準	府民に対する非常事態の基準	府民に対する非常事態解除の基準	府民に対する警戒解除の基準	4/16	4/17	4/18	4/19	4/20	4/21	4/22	現在の状況
(1) 市中での感染拡大状況	①新規陽性者における感染経路不明者 7日間移動平均前週増加比	①2以上かつ ②10人以上	—	—	—	1.37	1.33	1.35	1.31	1.25	1.22	1.17	3/31をピークに減少
	②新規陽性者における感染経路不明者数 7日間移動平均		—	—	10人未満	636.00	655.00	697.86	709.14	710.57	725.71	719.43	4/22は減少
	【参考①】新規陽性者における感染経路不明者の割合	—	—	—	—	63.4%	61.1%	68.7%	60.8%	60.2%	67.9%	64.3%	3/24以降、50%を超過したまま推移
(2) 新規陽性患者の拡大状況	③ 7日間合計新規陽性者数	120人以上かつ 後半3日間で半数以上	—	—	—	7064	7234	7626	7743	7797	7909	7868	4/22は減少
	うち後半3日間		—	—	—	3545	3576	3587	3099	3091	3114	3562	
	④直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数	—	—	—	0.5人未満	80.14	82.06	86.51	87.84	88.45	89.72	89.26	4/22は減少
	【参考②】陽性率（7日間）	—	—	—	—	8.0%	7.7%	8.0%	8.0%	8.0%	7.9%	8.0%	3/14以降、8%前後で高止まり
(3) 病床等のひっ迫状況	⑤患者受入重症病床使用率	—	70%以上 （「警戒（黄色）」信号が点灯した日から起算して25日以内）	7日間連続 60%未満	60%未満	102.2% (92.3%)	105.4% (95.2%)	108.9% (98.4%)	110.7% (97.6%)	114.7% (99.2%)	116.5% (96.7%)	121.0% (99.6%)	4/10以降連日過去最多
	【参考③】患者受入軽症中等症病床使用率	—	—	—	—	69.7%	72.4%	77.9%	79.1%	78.9%	79.7%	79.9%	3月末以降、急増
	【参考④】患者受入宿泊療養施設部屋数使用率	—	—	—	—	27.6%	31.1%	33.1%	36.0%	39.6%	43.9%	47.6%	4/17以降、増加

大阪モデルの重症病床使用率は、病床確保計画の確保病床数224床で算出。括弧内は、病床確保計画の確保病床数（224床）を上回って確保した病床数を含む。患者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている数及び他府県の医療機関で受け入れている数を除く。

4/1 まん延防止等重点措置適用（4/5～）を受け、大阪市域の飲食店・遊興施設に対する時短要請（20時まで）を決定（第43回対策本部会議）
 4/7 大阪モデル赤信号点灯（医療非常事態宣言）、府域における不要不急の外出移動自粛要請等を決定（第44回対策本部会議）
 4/14 大学等でのオンライン授業実施や学校での部活動休止、テレワーク徹底等を要請（第45回対策本部会議）
 4/20 緊急事態宣言発令要請を決定（第46回対策本部会議）

新型コロナウイルス感染症対策分科会におけるモニタリング指標の状況

		指標	ステージⅣ 目安	4/16	4/17	4/18	4/19	4/20	4/21	4/22	4/22時点の 目安に対する状況	
ステージⅣ	医療提供体制等の負荷	医療のひっ迫具合	①確保病床占有率	50%以上	73.3% (1,470/2,005)	76.1% (1,525/2,005)	81.3% (1,631/2,005)	82.6% (1,657/2,005)	82.9% (1,664/2,008)	83.8% (1,683/2,008)	84.5% (1,708/2,022)	●
			②入院率	25%以下	12.6% (1,470/11,672)	12.3% (1,525/12,384)	12.3% (1,631/13,239)	12.3% (1,657/13,475)	12.0% (1,664/13,898)	11.4% (1,683/14,736)	11.2% (1,708/15,318)	●
			③重症病床確保病床占有率	50%以上	72.6% (337/464)	75.4% (350/464)	76.5% (355/464)	80.0% (371/464)	83.2% (386/464)	84.3% (391/464)	85.6% (397/464)	●
			④人口10万人あたり療養者数	30人以上	132.41	140.49	150.19	152.86	157.66	167.17	173.76	●
	感染の状況	⑤陽性率 1週間平均		10%以上	8.0%	7.7%	8.0%	8.0%	8.0%	7.9%	8.0%	○
		⑥直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数		25人以上	80.14	82.06	86.51	87.84	88.45	89.72	89.26	●
		⑦感染経路不明割合 1週間平均		50%以上	63.0%	63.4%	64.1%	64.1%	63.8%	64.2%	64.0%	●

人口10万人あたり療養者数が10人以上の場合に適用する。ただし、新規陽性者が発生届が届け出られた翌日までに療養場所の種別が決定され、かつ入院が必要な者が同日までに入院している場合には適用しない。

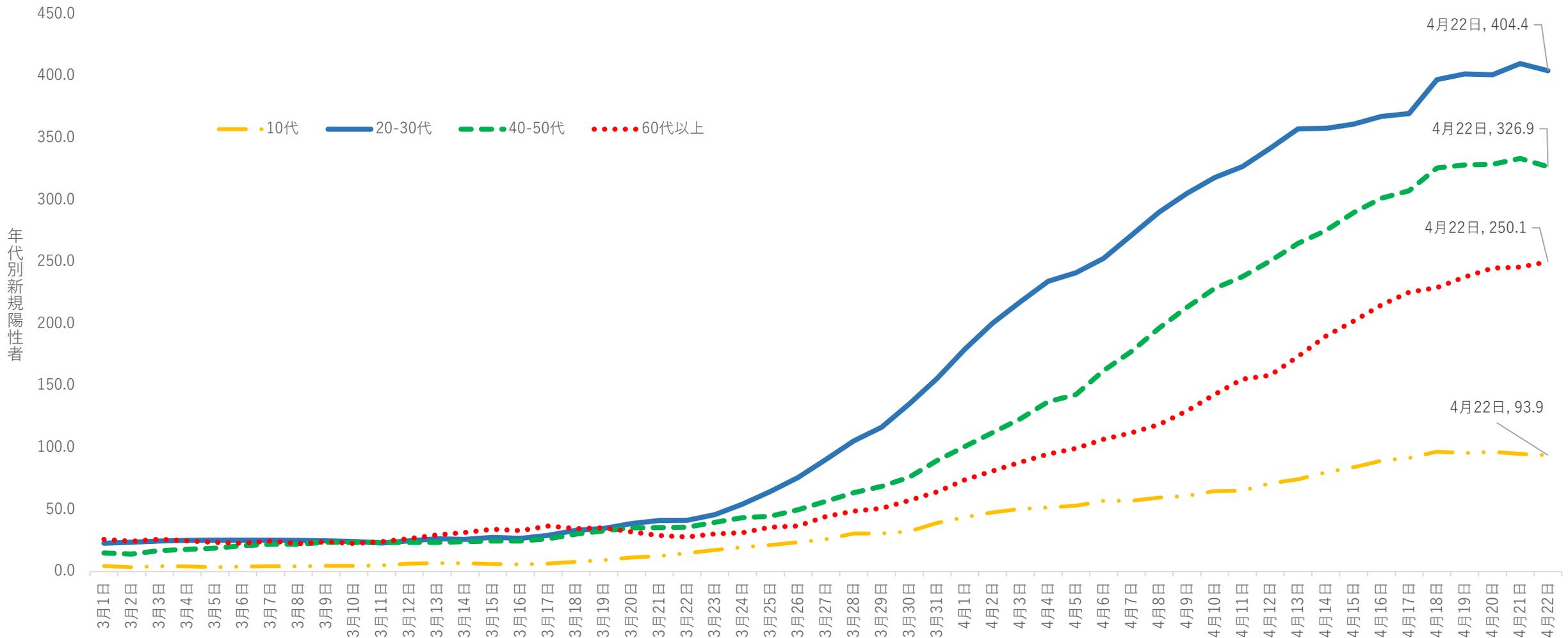
重症者数には、他府県の医療機関で受け入れている数1名を含む。

4/1 まん延防止等重点措置適用（4/5～）を受け、大阪市域の飲食店・遊興施設に対する時短要請（20時まで）を決定（第43回対策本部会議）
 4/7 大阪モデル赤信号点灯（医療非常事態宣言）、府域における不要不急の外出移動自粛要請等を決定（第44回対策本部会議）
 4/14 大学等でのオンライン授業実施や学校での部活動休止、テレワーク徹底等を要請（第45回対策本部会議）
 4/20 緊急事態宣言発令要請を決定（第46回対策本部会議）

●：基準外 ○：基準内

年代別新規陽性者数（7日間移動平均）の推移（日別）

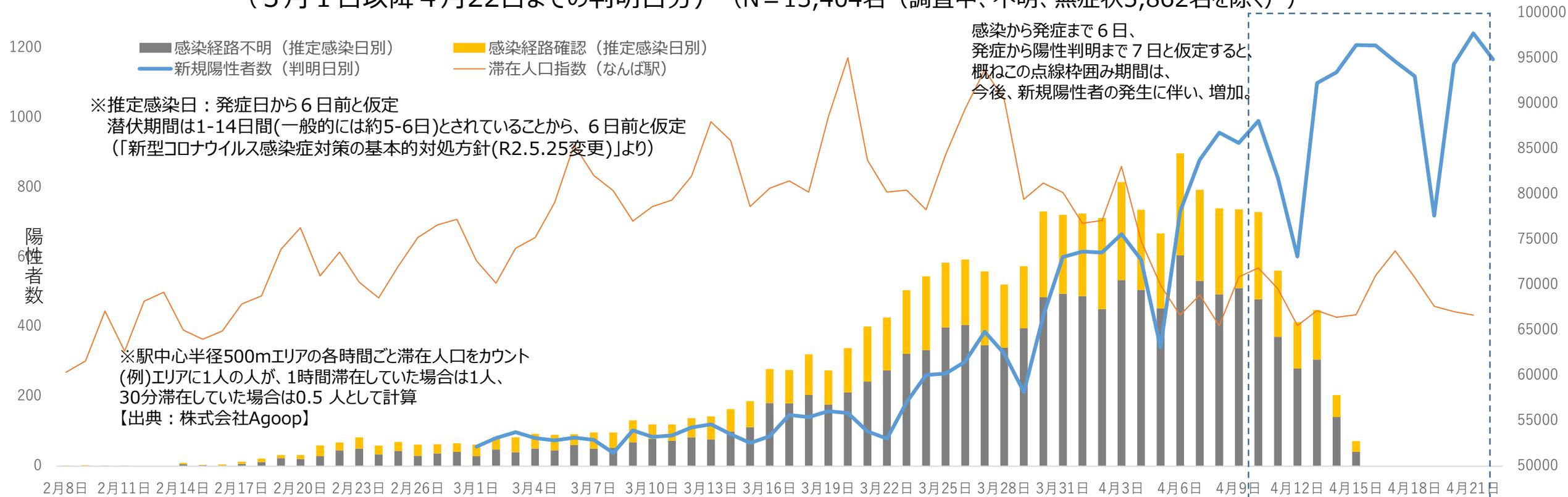
直近1日では60代以上を除き減少したが、各年代で依然高い水準。
過去の波では、20～30代新規陽性者数7日間移動平均がピークを迎えて約2週間後に60代以上が減少に転じていたことから、今後も60代以上の新規陽性者数移動平均は増加を続け、重症病床等のひっ迫状況は継続していくものと考えられる。



【第四波】推定感染日別陽性者数

人流は4月上旬以降減少した後、横ばいとなっている。推定感染日別陽性者数では、4月7日以降やや減少しているが、4月上旬以降、発症日不明の割合が増加していることから、実態を正確に示しているとは言いきれない。

(3月1日以降4月22日までの判明日分) (N=13,404名(調査中、不明、無症状5,862名を除く))



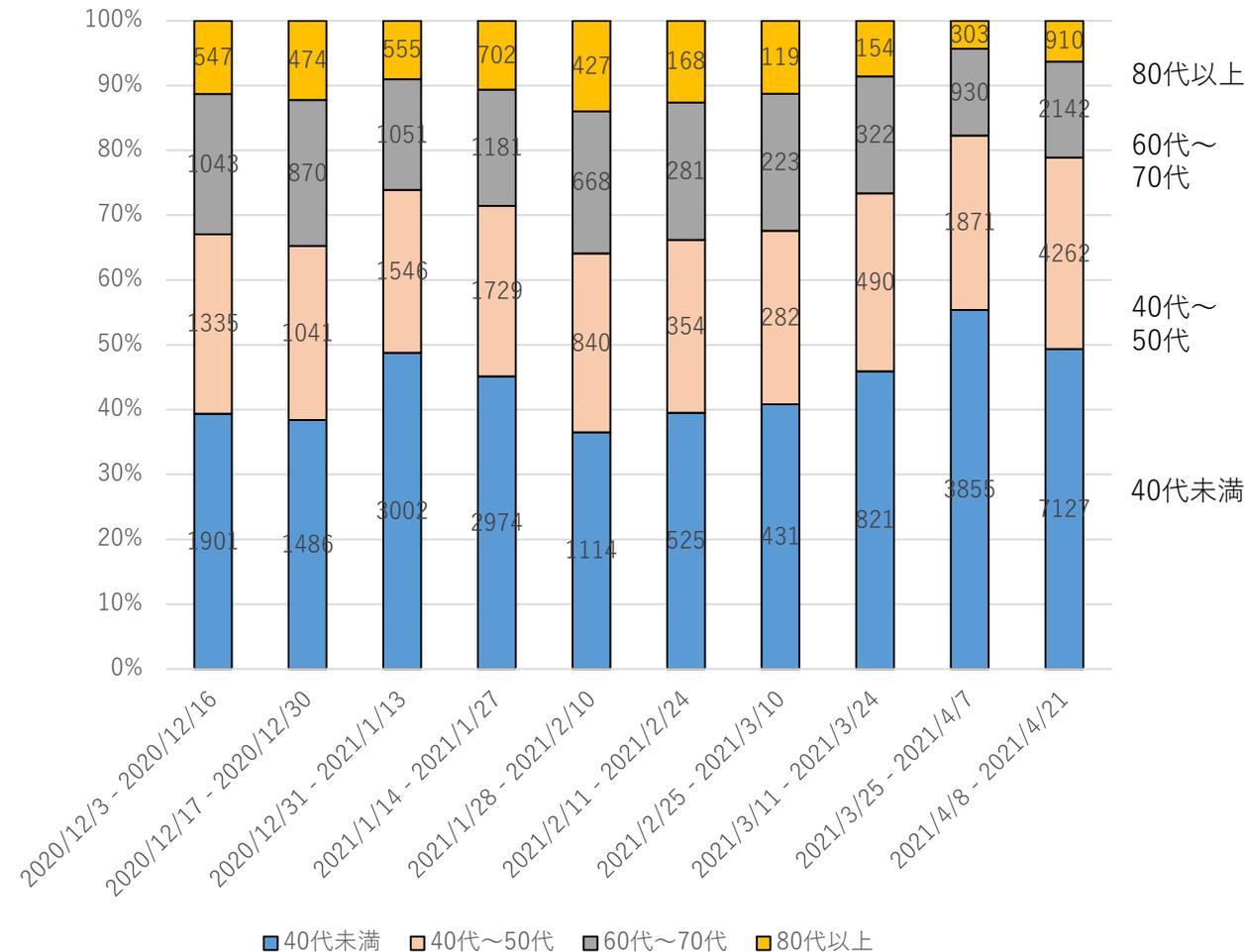
	3/25	3/26	3/27	3/28	3/29	3/30	3/31	4/1	4/2	4/3	4/4	4/5	4/6	4/7	4/8	4/9	4/10	4/11	4/12	4/13	4/14	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19	4/20	4/21	4/22
陽性者数に占める 発症日不明の割合	1.1%	1.7%	2.3%	1.9%	4.7%	0.9%	2.5%	3.1%	5.2%	4.7%	9.1%	5.6%	11.1%	13.9%	11.8%	13.9%	11.2%	10.6%	1.7%	9.7%	9.0%	12.3%	13.3%	17.1%	12.7%	13.9%	12.7%	14.0%	17.7%

陽性者の年齢区分

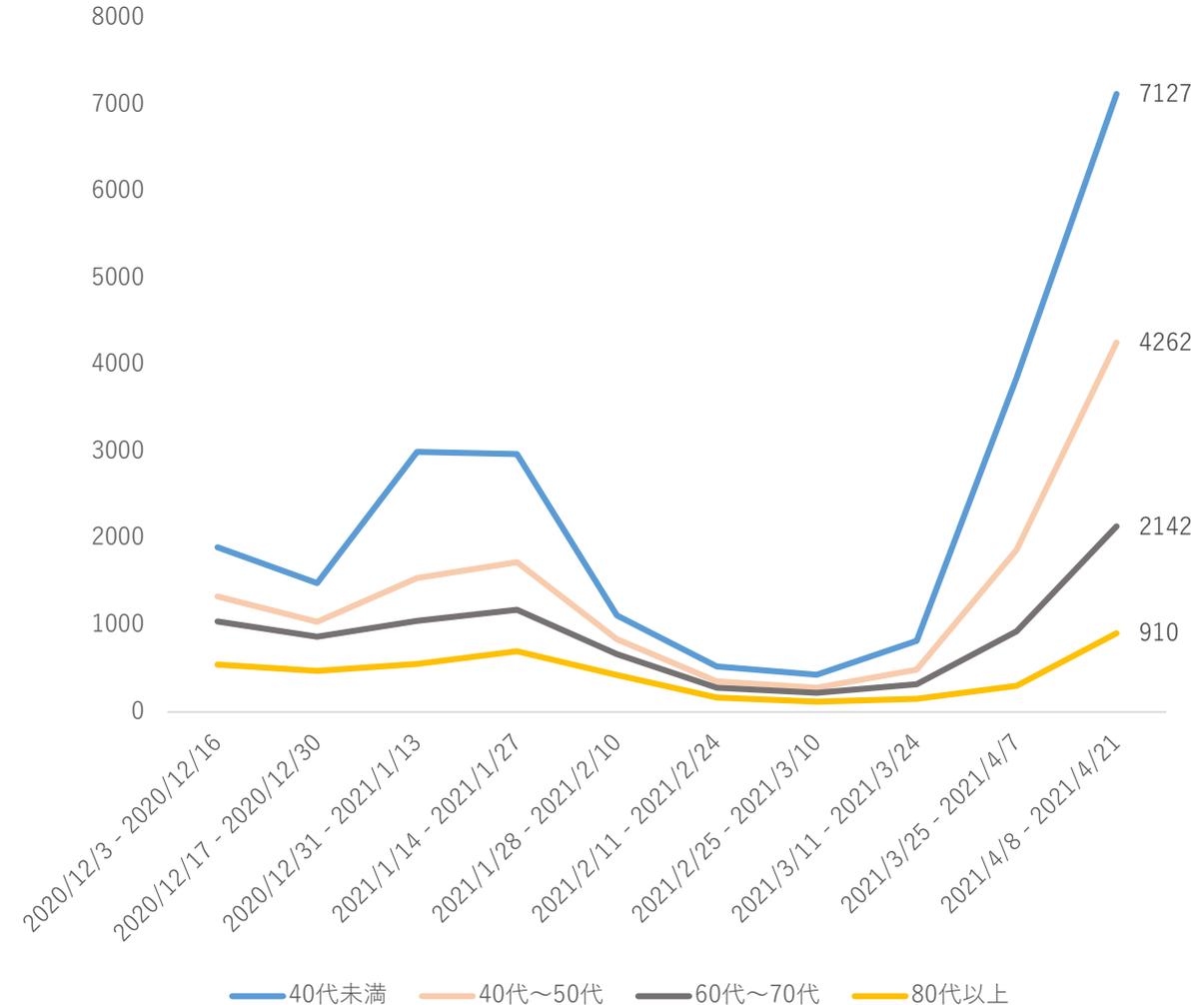
直近2週間で40代未満の割合は5割と依然高く、実数でも急増。

(12月3日以降4月21日までに判明した50,056事例の状況)

陽性者の年齢区分 (割合, 2週間単位)



陽性者の年齢区分 (実数, 2週間単位)

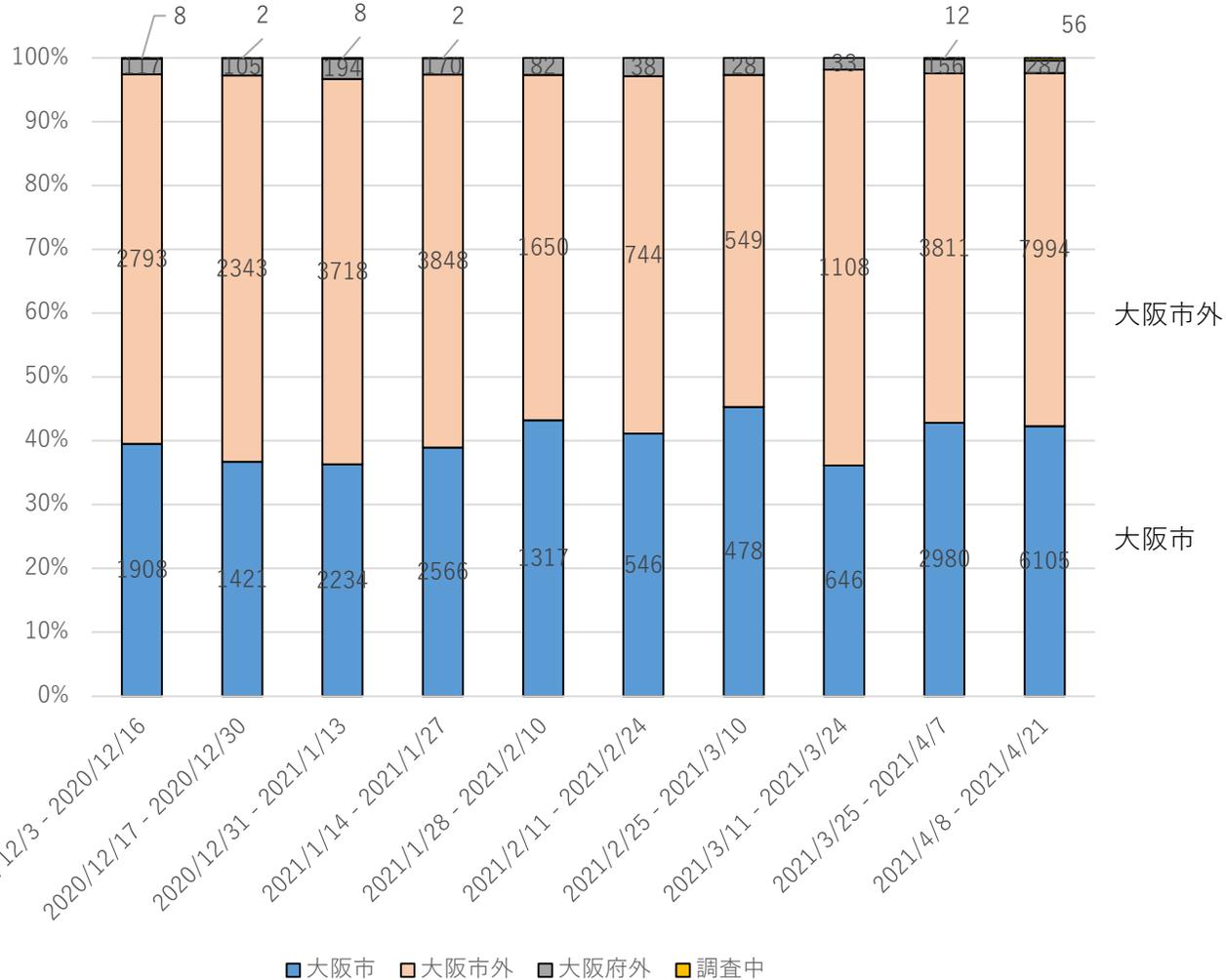


陽性者の居住地

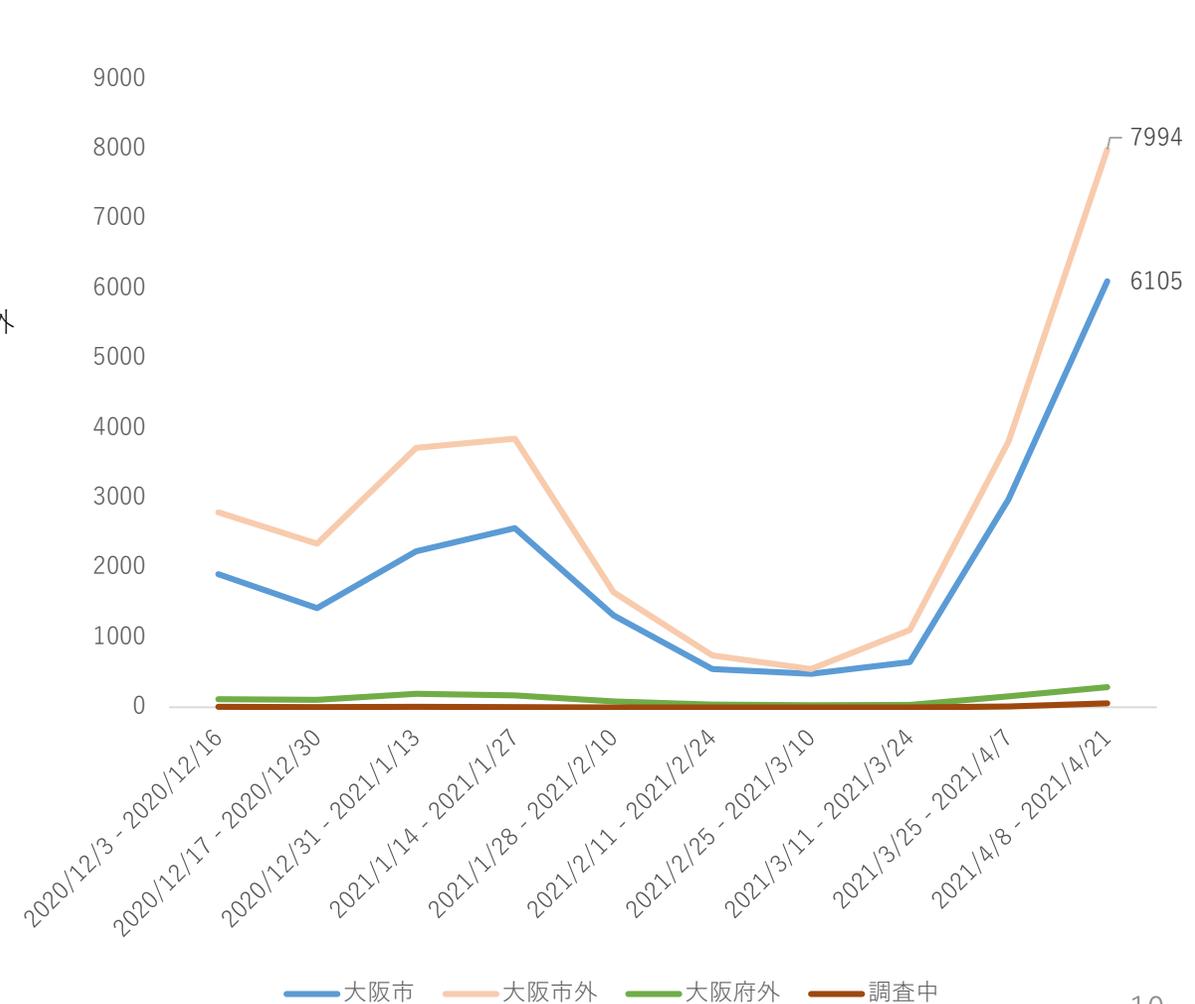
直近2週間で、大阪市内居住者は4割強、市外で6割弱であり、実数はともに急増。

(12月3日以降4月21日までに判明した50,057事例の状況)

陽性者の居住地区分 (割合, 2週間単位)



陽性者の居住地区分 (実数, 2週間単位)

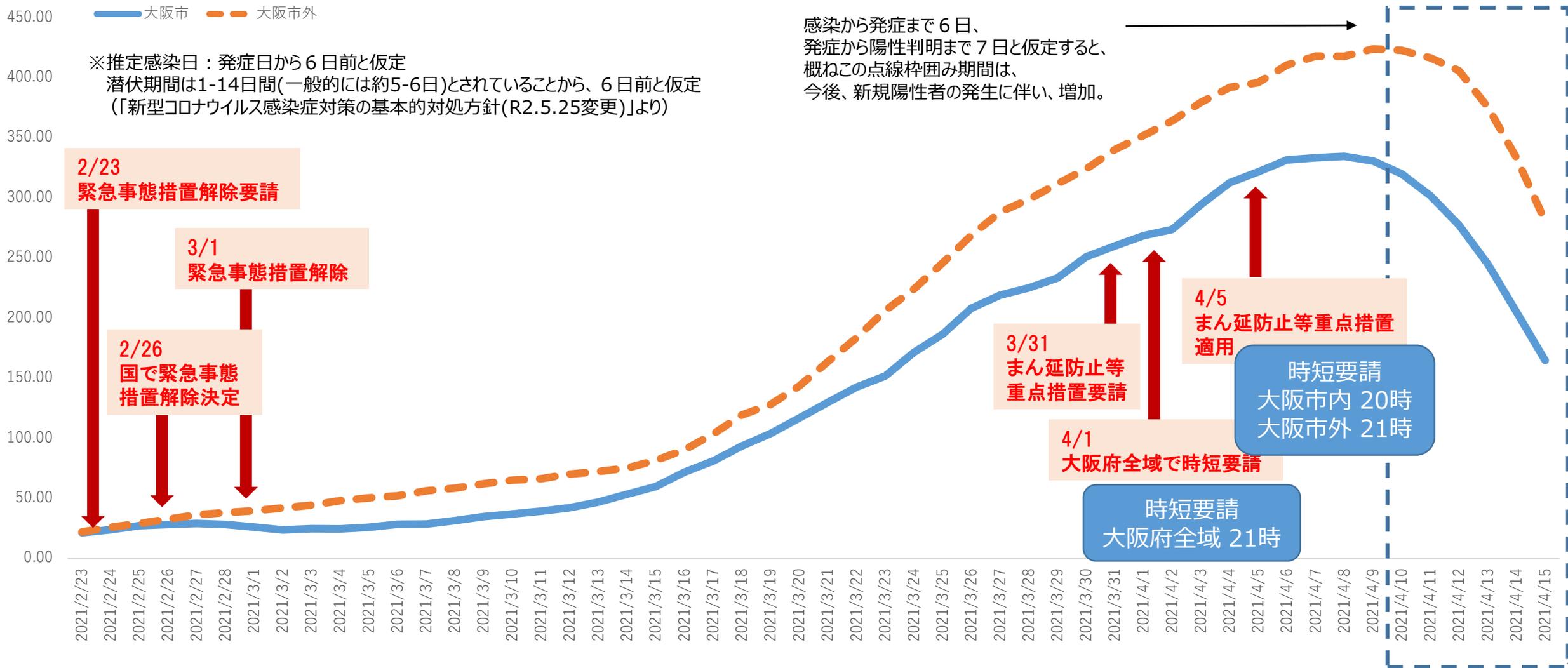


推定感染日別新規陽性者数（大阪市・市外 7日間移動平均）

※市内外は居住地による
 ※発症日が調査中、不明、無症状等を除く

市内居住者の推定感染日別新規陽性者数は、4月8日をピークにやや減少傾向。市外居住者については、現時点では減少傾向は見られない。

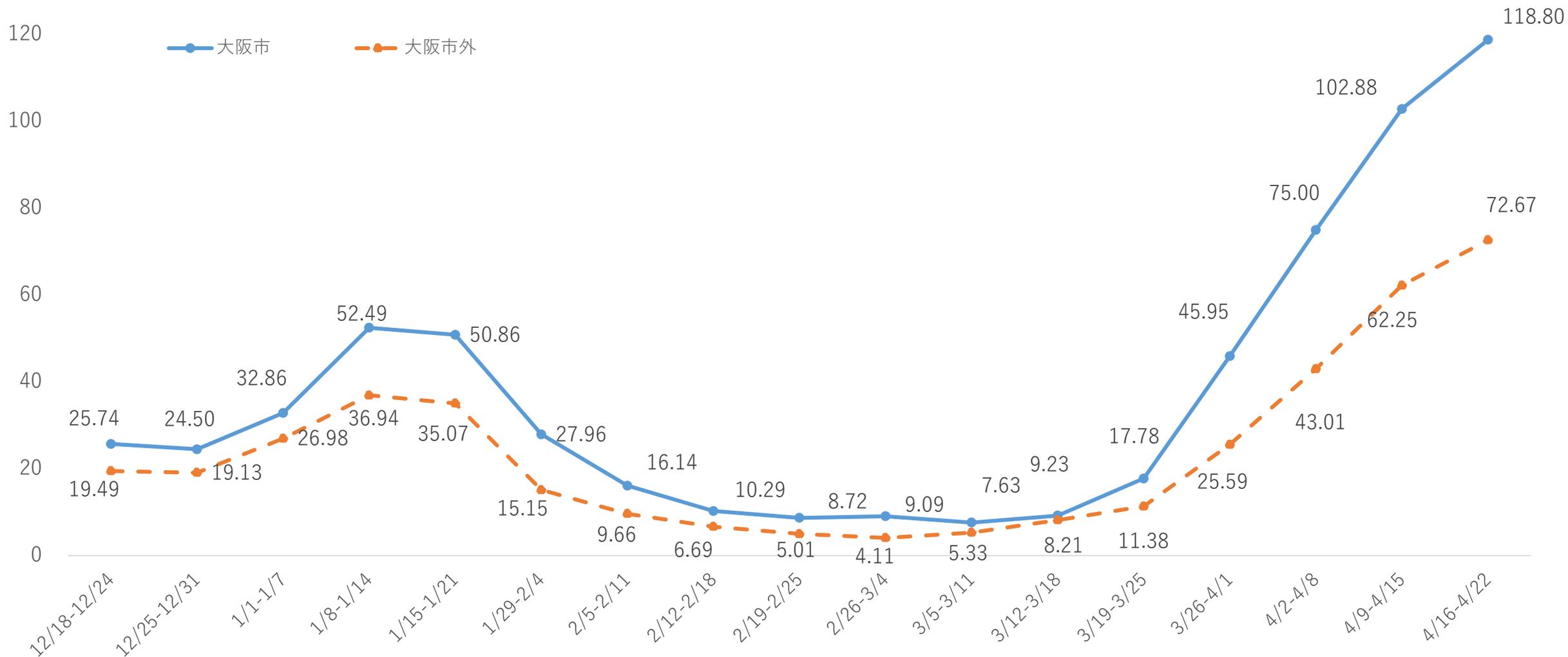
ただし、4月上旬以降、発症日不明の割合が増加していることから、実態を正確に示しているとは言いきれない。



大阪市・市外の陽性者比較（人口10万人あたり 1週間単位）

※市内外は居住地による
※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

直近1週間はやや鈍化傾向は見られるものの、依然極めて高い水準のまま増加。

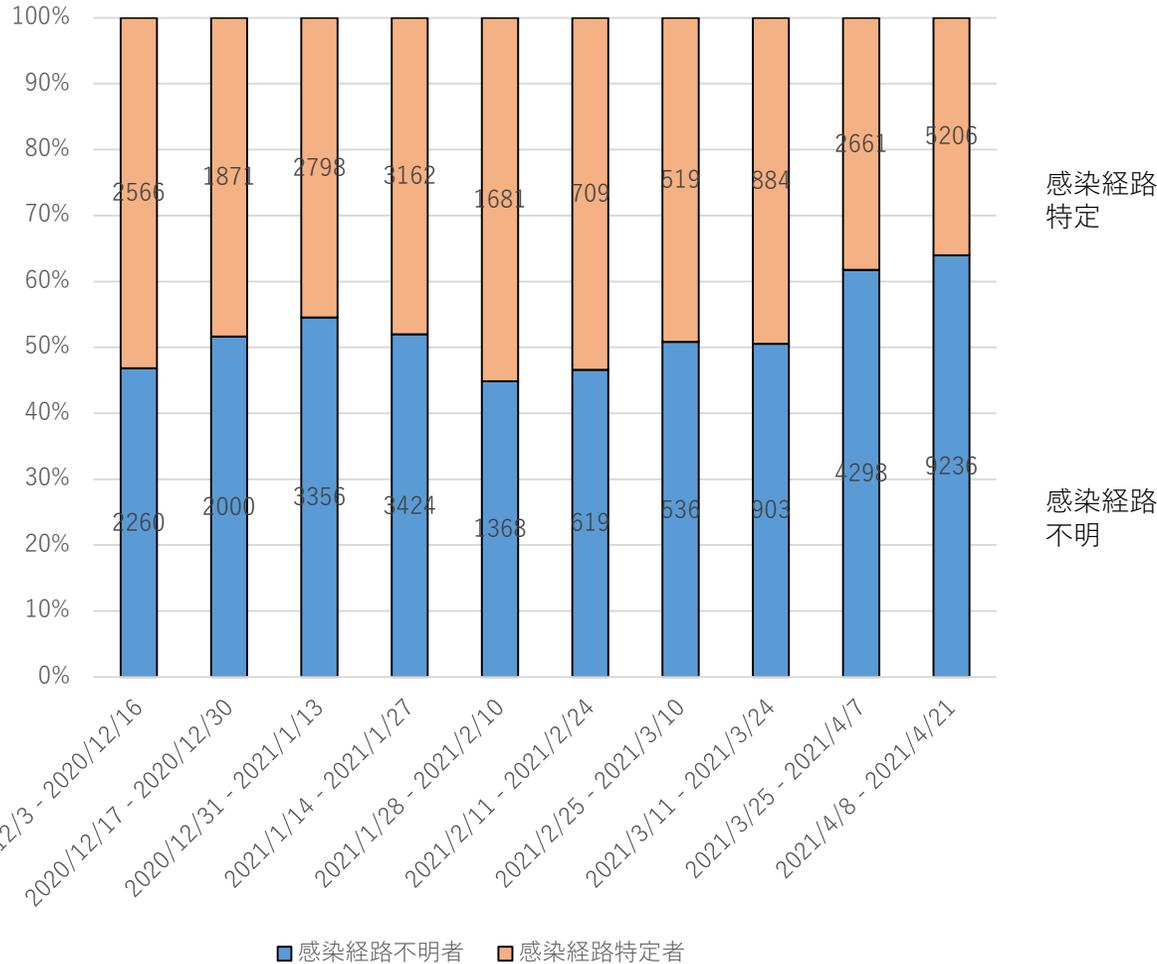


陽性者の感染経路の状況

直近2週間で、感染経路不明の割合が6割を超え、実数でも感染経路不明者数が急増。

(12月3日以降4月21日までに判明した50,057事例の状況)

感染経路の状況 (割合)



感染経路の状況 (実数)

